

## 新型コロナウイルス感染症における名古屋大学の活動指針に沿った選抜方法等の変更について

2020年9月9日

名古屋大学大学院法学研究科

新型コロナウイルス感染症における名古屋大学の活動指針に沿って、博士前期課程綜合法政専攻〔研究者養成コース・応用法政コース（共通一般選抜）〕の選抜方法の一部を次のように変更する。なお、試験会場・試験室においては3密回避を徹底するための措置を取るが、新型コロナウイルス感染症に罹患した受験者や、試験当日に発熱の症状があるなど体調不良の受験者、日本国外からの受験者で渡日できないものについては、代替措置を講じるので、学生募集要項6頁にある「入学試験に関する照会先」まで、できるだけ速やかに連絡すること。

また、今後も新型コロナウイルス感染症における名古屋大学の活動指針に沿って、筆記試験を実施しないことや、Zoomを利用した遠隔による口述試験に代えることなどがあり得る。変更内容はホームページに掲載するとともに、入学志願票に記されたE-mailアドレスあてに連絡する予定であるが、出願者は、遠隔による口述試験の実施の可能性に備え、末尾の「誓約書」に自署の上、他の出願書類と合わせて提出すること。

### 8 選抜方法（学生募集要項3～4頁）

#### 1 筆記試験の科目

##### (1) 研究者養成コース専願の者及び両コース併願の者

次の2科目を受験すること。入学志願票及び受験票における「受験科目」の3科目目の欄には斜線を引くこと。

①外国語（英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、韓国・朝鮮語のうちいずれか。

ただし「国際政治学」、「国際政治史」又は「国際法」を専攻科目とする者は、英語を選択すること。）

②入学後の専攻科目〔(注)の科目の中から選択〕

※両コース併願の者は、入学志願票及び受験票における「応用法政コース専願及び両コース併願」のA方式の1科目目の欄に入学後の専攻科目を記入し、その他の欄には斜線を引くこと。

##### (2) 応用法政コース専願の者

入学後の専攻科目〔(注)の科目の中から選択〕を受験すること。

※入学志願票及び受験票における「応用法政コース専願及び両コース併願」のA方式の1科目目の欄に入学後の専攻科目を記入し、その他の欄には斜線を引くこと。

9 試験日程（学生募集要項4頁）

（1）筆記試験 2020年10月7日（水）

時 間	科 目
13：30～14：30	外 国 語
15：00～16：00	入学後の専攻科目

以上

名古屋大学大学院法学研究科長 殿

## 誓約書

2021 年度名古屋大学大学院法学研究科博士前期課程総合法政専攻（共通一般選抜）を受験するに当たり、下記事項を遵守することを誓約いたします。

- ・ 自己の責任において、ビデオ通話が可能な機器（カメラ付きパソコン、タブレット、スマートフォン等）を用意するとともに、面接を受けることを予定している場所（自宅、通学する教育機関等の個室）で、良好かつ安定的なインターネット環境を確保すること。
- ・ 面接を受ける場所（以下「試験室」という。）には本人以外入室せず、試験開始から終了まで一人であること。また、試験室は静寂な状態を保つよう努めること。
- ・ オンライン面接に使用する以外の通信機器は、電源を切り、試験室に持ち込まないこと。場所の都合上やむを得ず持ち込まざるを得ない場合は、試験開始から試験終了まで当該通信機器に触れないこと。
- ・ 試験中に撮影、録画、録音を行わないこと、及びそれらの画像、映像、音声データをSNS等で配信しないこと。
- ・ 試験実施に際して知り得た情報を、合格者発表（2020年11月12日（木）予定）まで口外しないこと。

2020 年 月 日

氏名（自署）

---